



平成 26年 10 月 23 日

各位

会 社 名 住友商事株式会社  
代表者名 取締役社長 中村 邦晴  
(コード番号:8053、東証第 1 部)  
問合せ先 広報部長 新森 健之  
(TEL. 03-5166-3100)

当社子会社(セブン工業株式会社)の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社であるセブン工業株式会社は、2014 年 4 月 30 日に公表いたしました 2014 年度(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)の業績予想を添付資料の通り修正しましたので、お知らせ致します。尚、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

(添付)

・セブン工業株式会社の開示資料

以 上



平成26年10月23日

各 位

上場会社名 セブン工業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 永吉 喜昭  
 (コード番号 7896)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 田中 太郎  
 (TEL 0574-28-7800)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
|                                   | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                         | 6,500 | 100  | 75   | 60     | 4.02        |
| 今回修正予想(B)                         | 6,030 | △24  | △43  | △8     | △0.57       |
| 増減額(B-A)                          | △470  | △124 | △118 | △68    |             |
| 増減率(%)                            | △7.2  | —    | —    | —      |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成26年3月期第2四半期) | 5,953 | 77   | 52   | 40     | 2.71        |

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

|                         | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
|                         | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 13,700 | 390   | 340   | 300   | 20.12      |
| 今回修正予想(B)               | 13,200 | 240   | 195   | 170   | 11.40      |
| 増減額(B-A)                | △500   | △150  | △145  | △130  |            |
| 増減率(%)                  | △3.6   | △38.5 | △42.6 | △43.3 |            |
| (ご参考)前期実績<br>(平成26年3月期) | 13,092 | 330   | 281   | 286   | 19.21      |

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想

当第2四半期累計期間における住宅関連業界におきましては、住宅ローン減税の拡充や住宅ローン金利の水準が低い状態で推移しているものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が大きく、新設住宅着工戸数は戸建住宅を中心に減少傾向が続いており、厳しい状況で推移いたしました。また、為替の影響による資材価格の高騰が収益を圧迫し、売上高及び営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも、当初予想を下回る見込みでありますので、業績予想を修正するものであります。

(2) 通期の業績予想

第3四半期以降については、駆け込み需要の反動は収束に向かい、徐々に受注は上向いていくものと思われませんが、消費マインドの低下を背景に厳しい事業環境が続くものと予測されます。

こうしたなか、引き続き販売強化策や生産革新プロジェクトを通じた生産性の向上、収益性の改善に取り組み、また当社は下期に受注が増加する事業形態であることを踏まえ、第3四半期以降の業績改善を見込んでおりますが、第2四半期累計期間の業績を勘案し、通期の業績予想を修正するものであります。

なお、消費税増税の動向によっては業績に影響を受ける可能性もあります。

以上